

令和 4 年度東大阪市地域研究助成金事業
研究成果の今後の活用について

研究テーマ	民間活力の導入による公共施設の活用を契機とした生駒山地を含む東地域のエリア価値を高める取り組みの研究
担当部署	企画財政部資産経営室資産経営課

研究概要	コロナや時代の価値観の変化により、人々の生活志向は拡大傾向から、充実した生活や家族、友人との時間を大切にする等の嗜好に変化している。東大阪市の自然豊かな生駒山系とその麓の環境 資産を活用し、地域の資源（拠点）を結びつけブランディングすることで、市民や東大阪市以外の人々にも地域の魅力を再発見してもらう契機になると考えられる。またその為に NPO、企業、市民などの民間と連携し東エリアの価値を高めていく可能性を研究する。
研究成果	現状把握及びヒアリングを通じて、生駒山地を含む東地域は様々な地域資源を有している。近年のまちづくりでは、官民が連携して地域資源を活かし発展させて現代人の生活や嗜好に合致する魅力的な空間やコンテンツを各拠点に創出することで回遊性を実現させ、波及効果として暮らしの質の向上・エリアの価値向上を図る取組が行われている。その中で滞留機能を持ち地域の核となる公共施設をアンカーとして再生することが、周辺エリアへの波及効果を図る上で大切な役割を担っていることが分かった。
今後の活用	今後、当該地域で整備予定である歴史博物館の所管である人権文化部などに対して基本計画策定する上での参考資料として情報共有する。